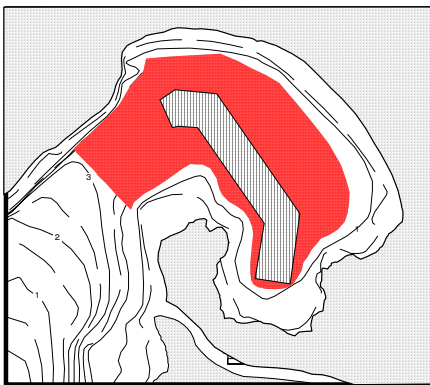


c) 底泥対策

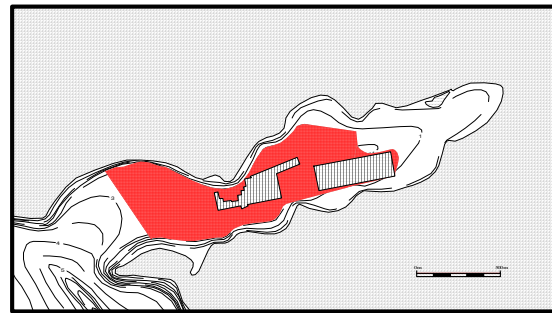
項目	内容	実施主体	効果
底泥対策	閉鎖性水域である呼人浦、女満別湾において平成 15 (2003) 年度以降 503,000m ³ の浚渫を実施し、平成 14 (2002) 年度までの実施分とあわせ累計 700,000m ³ を実施する。	網走開発建設部	底泥から溶出する汚濁負荷を削減し、湖内閉鎖性水域の水質改善を図る。

計画位置図

《女満別湾》



《呼人浦》



凡 例

- : 浚渫計画エリア (女満別湾 423,000m³、呼人浦 277,000m³)
- : 浚渫実施済エリア (女満別湾 140,000m³、呼人浦 57,000m³)

実 施 例



《浚渫の状況》

d) 河道内直接処理

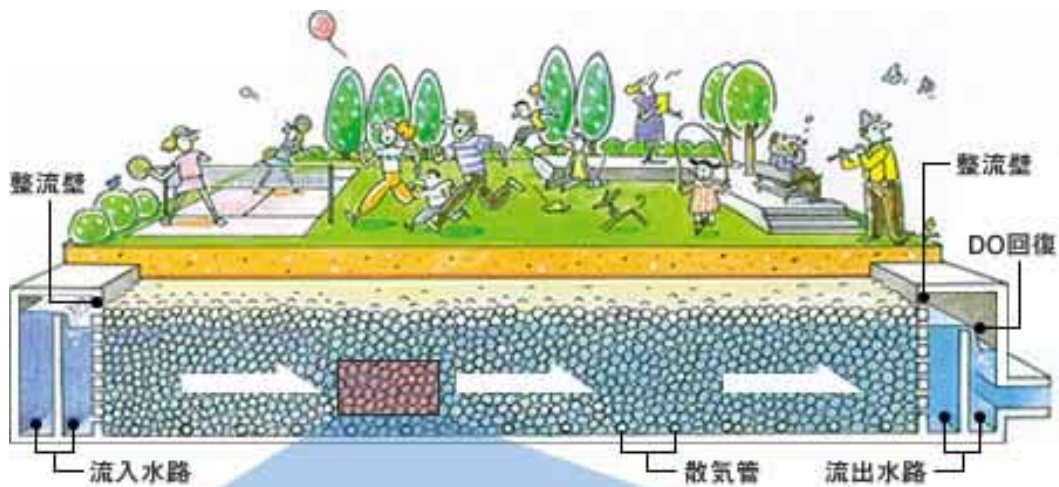
項目	内容	実施主体	効果
河道内直接処理	接触酸化等の直接浄化施設により河川水質の浄化を行なう。平成 15 (2003) 年以降は、現在試験施設として設置した 3 施設を改良し、稼働させる。	網走開発建設部	網走川本川等に直接流入する河川水の水質改善を図る。

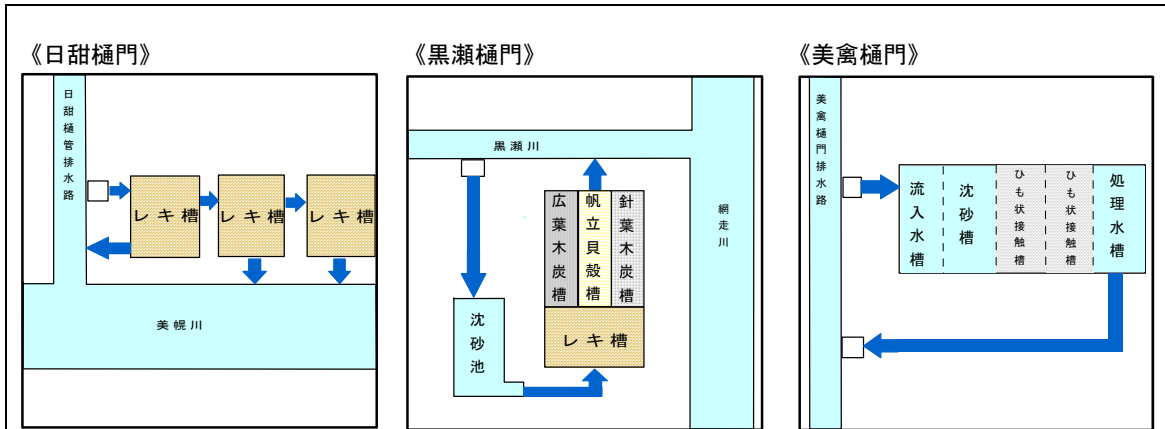
計画位置図



実施例

《接触酸化材（碎石集合体）による実施例》





直接浄化处理施設 概略図



《取水放流部 黒瀬樋門》



《沈砂池 黒瀬樋門》

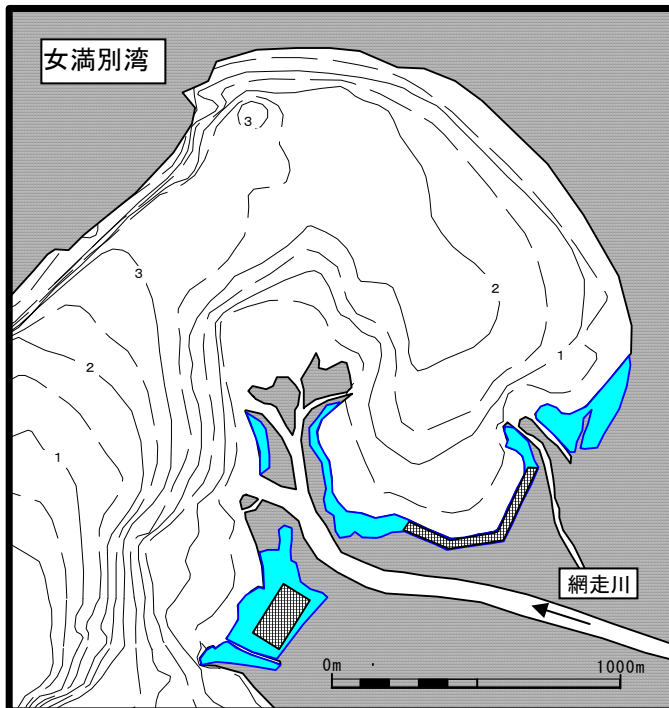


《浄化槽 黒瀬樋門》

e) 植生利用浄化

項目	内容	実施主体	効果
植生利用浄化	網走湖湖畔に生育するヨシ原200,000m ² を活用した浄化施設を設置し、河川水質の浄化を行なう。	網走開発建設部	網走川本川等の流入量の一部取水し、植生利用浄化施設を経由してから湖内に導入することで、流入河川の水質改善を図る。

計画位置図

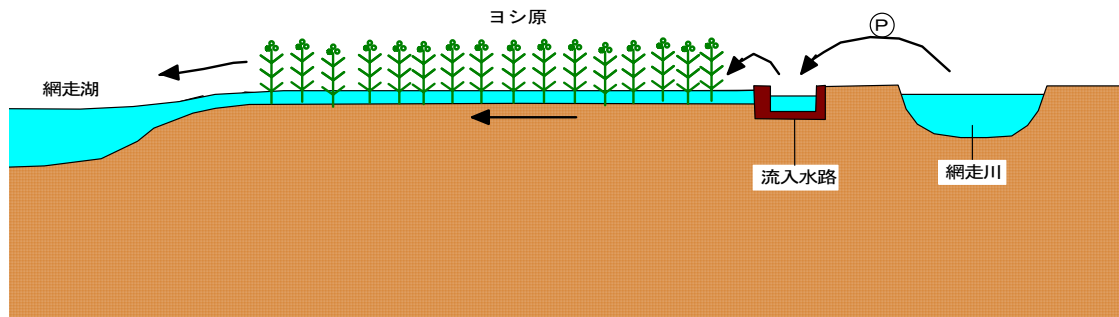


実施例 (1)



植生利用浄化施設 (既設)

実 施 例 (2)



植生利用浄化施設 概略図



【ヨシ原の状況】

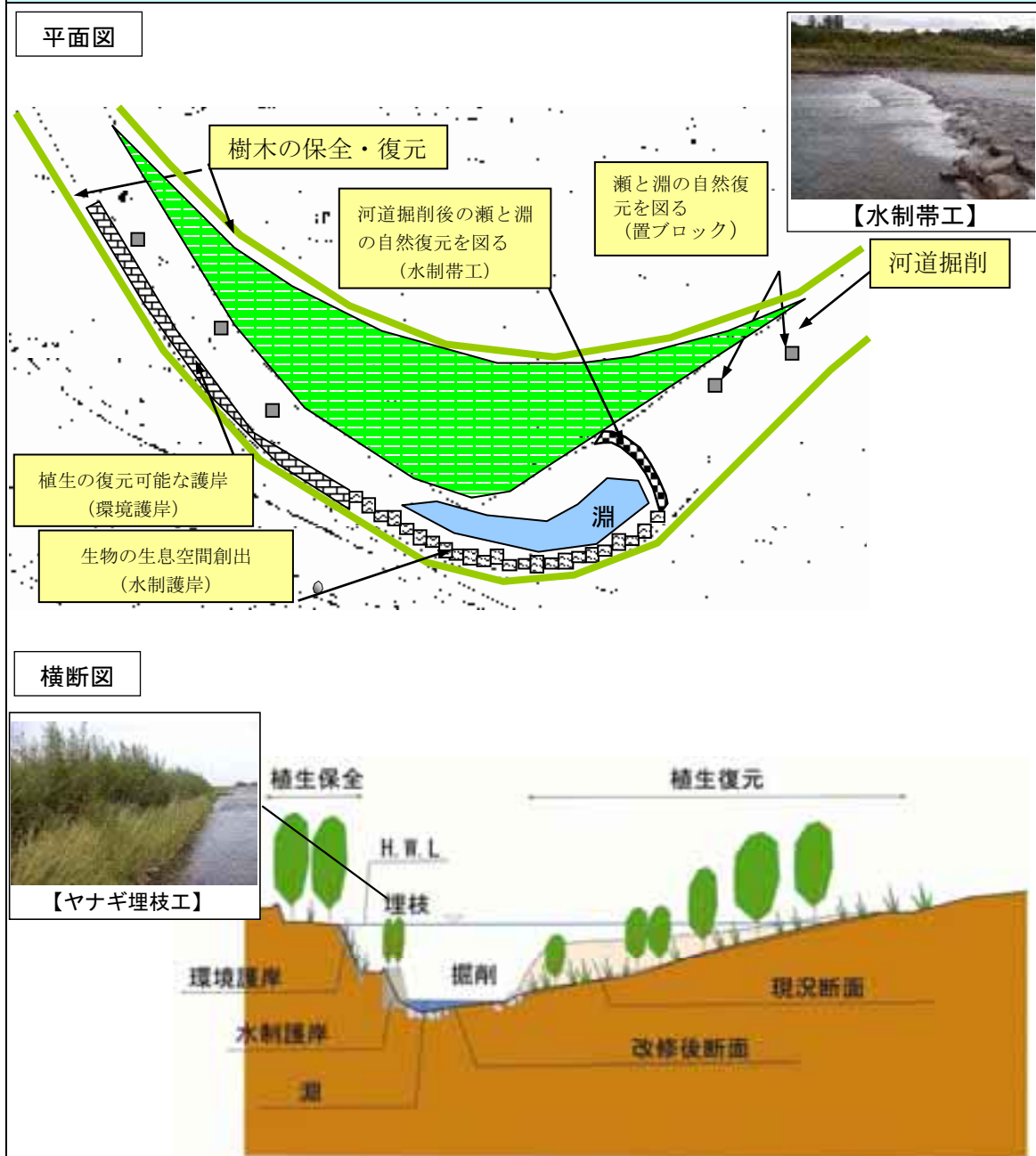


【流入水路】

f) 多自然型川づくり

項目	内容	実施主体	効果
多自然型川づくり	治水安全度の向上を図るなかで、極力自然を生かした川づくり（多自然型川づくり）を網走川上流地区において推進することにより、川の有する浄化機能等の向上を図る。	網走開発建設部	川の機能を向上させる川づくりを推進する。

実施例



多自然型川づくり 概要図 (縦横比=1:5)

図のように川幅の広い区間では河岸を緩傾斜に切り込み必要断面を確保し、植生の復元等を行うことによって環境回復領域として機能させる

(2) 下水道事業

網走市、女満別町、美幌町及び津別町の4市町において公共下水道事業を引き続き実施する。

表-16 下水道計画

下水道事業名	事業主体	放流先	全体計画 (H14(2002)年度現在)		H26(2014)年度までの 整備予定	
			計画処理人口		処理人口	
公共 下水道	網走市	林-ツ海	計画処理人口	1,249人	処理人口	1,249人
	事業開始		計画処理区域面積	293ha	整備面積	293ha
	H1(1989)年度				普及率	100%
公共 下水道	女満別町	林-ツ海	計画処理人口	5,700人	処理人口	5,700人
	事業開始		計画処理区域面積	513ha	整備面積	513ha
	H2(1990)年度				普及率	100%
公共 下水道	美幌町	美幌川	計画処理人口	30,260人	処理人口	30,260人
	事業開始		計画処理区域面積	848ha	整備面積	848ha
	S56(1981)年度				普及率	100%
公共 下水道	津別町	網走川	計画処理人口	6,000人	処理人口	6,000人
	事業開始		計画処理区域面積	208ha	整備面積	208ha
	H1(1989)年度				普及率	100%

注) 普及率はH26処理人口/計画処理人口で算出

(3) 流域対策等の事業

流域対策等の事業として、流域の市町村や地域住民、関連機関等による対策内容を以下に示す。これまでに実施されてきた流域の取り組みを今後も積極的に推進していくことを基本として、新たな取り組みも実施してゆく。

a) 生活排水対策

項目	内容	実施主体	効果
合併浄化槽の普及	公共下水道の整備を行わない地区では、合併浄化槽の整備を進める。	網走市、女満別町、美幌町、津別町	下水道未整備区域から川へ流れ込む排水負荷を削減する。
農業集落排水処理の普及	公共下水道の整備を行わない地区では、合併浄化槽の整備に加えて、農業集落排水処理の普及を進める。	津別町	下水道未整備区域から川へ流れ込む排水負荷を削減する。
台所対策	水切り袋等の全戸配布、生ゴミ処理機購入補助、町内全家庭に浄化資材配布（銅製コーナー、浅型バスケット）を行う。	女満別町、津別町	下水道や河川へ流れ込む汚濁負荷を削減する。

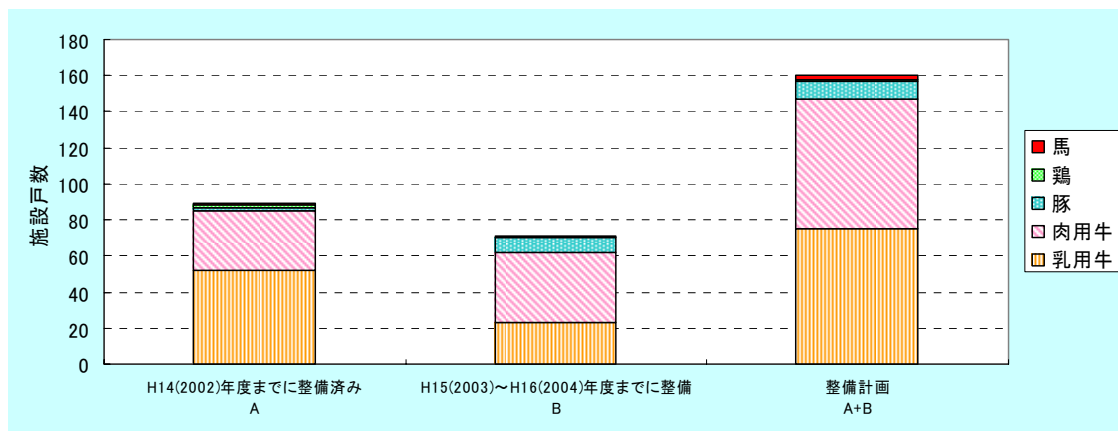
b) 工場・事業場排水対策

項目	内容	実施主体	効果
監視の強化、負荷量の削減	水質汚濁防止法に基づく排水基準が適用される工場・事業場について、立入検査を年1回から年2回に回数を増やし監視を強化するとともに、排水実態をより正確に把握する。また、排水基準は遵守しているものの排出負荷が大きい工場・事業場に対し負荷量削減の協力要請を行う。	北海道	工場・事業場の排水規制等により、河川に流れ込む汚濁負荷を削減する。

c) 畜産排水処理

項目	内容	実施主体	効果
糞尿処理施設の整備等	「畜産排せつ物管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の施行により、平成16(2004)年度までに網走市、女満別町、美幌町、津別町の約160戸の農家を対象に糞尿処理施設の整備等法律を遵守した管理及び利用の促進を図る。	北海道、市町、農協等	家畜糞尿の堆肥化等により、川へ流れ込む汚濁負荷を削減する。

整備計画



畜産排水処理施設の整備計画

(施設戸数は、網走市、女満別町、美幌町、津別町の合計値)

実施例



【堆肥舎】

d) 施肥管理

項目	内容	実施主体	効果
畑地の適切な施肥管理の指導	「硝酸性窒素汚染防止のための施肥管理の手引き」(平成 15 (2003) 年 2 月北海道農政部)に基づき、畑地の適切な施肥管理を指導する。	北海道、市町、農協等	適切な施肥を行なうことで、川へ流れ込む汚濁負荷を削減する。

e) 農地排水処理

項目	内容	実施主体	効果
国営総合農地防災事業	平成 9 (1997) 年度～平成 16 (2004) 年にかけて、国営総合農地防災事業として、網走川流域の美幌町、津別町にまたがる 4,190ha (253 戸、排水路 20 条 L=74.7km) の農地を対象とし、農地から流出する土砂を抑制するために、畑地の排水路の整備、排水路保護工、流入対策工、幅広水路工の施工を行なう。	国	畑地からの土砂流出を抑制することで、川へ流れ込む汚濁負荷を削減する。
農業用排水路の整備	平成 8 (1998) 年度～平成 20 (2008) 年度にかけて、道営畑地帯総合整備事業等により、網走川流域の女満別町(女満別、女満別豊住地区)、美幌町(昭美、美幌地区)、津別町(津別西部第 2 地区)の農業用排水路(17 条、15,986m)を対象とした整備を行なう。	北海道	農地からの土砂流出を抑制することで、川へ流れ込む汚濁負荷を削減する。
畑地からの土砂流出防止対策の推進・指導	畑地等における土砂流出防止対策の指導を強化し、意識の高揚を図る。 有機質肥料を活用した土づくり対策を推進する。	国、北海道、市町	土砂流出防止対策の推進を図る。 畑地土壌の改善による表土流出防止対策の推進を図る。